

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	地理歴史	レポート通数	6	担当者	
科 目	地理総合	必要面接指導時数／実施時数	2	対 象	全生徒
単位数	2	試験	あり		

教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）
学習書等	高等学校 新地理総合 令和 8 年度改訂版（NHK出版）
その他	新詳高等地図（帝国書院）

○教科（地理歴史） の目標

知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○科目（地理総合）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

○ 評価の方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・レポート ・期末試験	・レポート ・期末試験	・レポート

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4 ・ 5 月	地図でとらえる 現代世界	地図を活用して、ある事象が「どこ」でよくみられ、またみられないのかを読み取り、その背景や理由を考察する。また、地理情報システム(GIS)の有用性についても理解する。	教科書 p5～41 学習書 p10～54	【第 1 回】 4/18	【第 1 回】 5/13	前半：4/25 後半：5/2	参考：放送回 1～3 ※スクーリングの代替として活用可
5 月	世界の地形と気 候	地球上にあるさまざまな地形とどのように関わり合い、そしてどのような生活が営まれているのか、また地球上の場所によって異なる気候とどのように関わっているのか理解する。	教科書 p46～75 学習書 p56～108	【第 2 回】 4/20	【第 2 回】 5/20	前半：5/9 後半：5/16	参考：放送回 4～7 ※スクーリングの代替として活用可
5 ・ 6 月	世界の産業・歴 史と人々の生活	産業の発展やグローバル化が人々の生活にどのような影響を与えてきたのか、また世界各地の歴史的背景が人々にどのような影響を与えてきたのかを理解する。	教科書 p62～182 学習書 p109～215	【第 3 回】 5/3	【第 3 回】 6/3	前半：5/30 後半：6/6	参考：放送回 7～11 ※スクーリングの代替として活用可
6 月	世界の自然・言 語・文化と人々 の生活	世界各地の特色ある気候は、その地域の生活文化などにどのような影響を与えてきたのか、また世界各地で信仰されている言語や宗教が、人々の生活に与えた影響について理解する。	教科書 p62～182 学習書 p109～215	【第 4 回】 5/17	【第 4 回】 6/17	前半：6/13 後半：6/20	参考：放送回 7～11 ※スクーリングの代替として活用可
6 ・ 7 月	地球的課題と国 際協力	現代世界に存在する大小さまざまな地球的課題に対し、国の枠を超えて解決に向かわせ、持続可能な社会を作るために、今後どのような取り組みが必要か考察する。	教科書 p136～182 学習書 p216～280	【第 5 回】 6/1	【第 5 回】 7/1	前半：6/27 後半：7/4	参考：放送回 13～16 ※スクーリングの代替として活用可
7 月	自然環境と防災	世界各地で災害が発生している中、日本の自然環境にはどのような特徴があり、また自然災害に強い地域をつくるためにどのような取り組みが必要かを考察する。	教科書 p184～213 学習書 p282～301	【第 6 回】 6/15	【第 6 回】 7/15	前半：7/11 後半：7/18	参考：放送回 17～19 ※スクーリングの代替として活用可

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	地理歴史	レポート通数	6	担当者	
科 目	地理総合	必要面接指導時数／実施時数	2	対 象	全生徒
単位数	2	試験	あり		

教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）
学習書等	高等学校 新地理総合 令和 8 年度改訂版（NHK出版）
その他	新詳高等地図（帝国書院）

○教科（地理歴史） の目標

知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○科目（地理総合）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

○ 評価の方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・レポート ・期末試験	・レポート ・期末試験	・レポート

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4 ・ 5 月	地図でとらえる 現代世界	地図を活用して、ある事象が「どこ」でよくみられ、またみられないのかを読み取り、その背景や理由を考察する。また、地理情報システム(GIS)の有用性についても理解する。	教科書 p5～41 学習書 p10～54	【第 1 回】 9/1	【第 1 回】 10/7	前半：10/3 後半：10/10	参考：放送回 1～3 ※スクーリングの代替として活用可
5 月	世界の地形と気 候	地球上にあるさまざまな地形とどのように関わり合い、そしてどのような生活が営まれているのか、また地球上の場所によって異なる気候とどのように関わっているのか理解する。	教科書 p46～75 学習書 p56～108	【第 2 回】 9/21	【第 2 回】 10/21	前半：10/17 後半：10/24	参考：放送回 4～7 ※スクーリングの代替として活用可
5 ・ 6 月	世界の産業・歴 史と人々の生活	産業の発展やグローバル化が人々の生活にどのような影響を与えてきたのか、また世界各地の歴史的背景が人々にどのような影響を与えてきたのかを理解する。	教科書 p62～182 学習書 p109～215	【第 3 回】 10/4	【第 3 回】 11/4	前半：10/31 後半：11/7	参考：放送回 7～11 ※スクーリングの代替として活用可
6 月	世界の自然・言 語・文化と人々 の生活	世界各地の特色ある気候は、その地域の生活文化などにどのような影響を与えてきたのか、また世界各地で信仰されている言語や宗教が、人々の生活に与えた影響について理解する。	教科書 p62～182 学習書 p109～215	【第 4 回】 10/18	【第 4 回】 11/18	前半：11/14 後半：11/21	参考：放送回 7～11 ※スクーリングの代替として活用可
6 ・ 7 月	地球的課題と国 際協力	現代世界に存在する大小さまざまな地球的課題に対し、国の枠を超えて解決に向かわせ、持続可能な社会を作るために、今後どのような取り組みが必要か考察する。	教科書 p136～182 学習書 p216～280	【第 5 回】 11/2	【第 5 回】 12/2	前半：11/28 後半：12/5	参考：放送回 13～16 ※スクーリングの代替として活用可
7 月	自然環境と防災	世界各地で災害が発生している中、日本の自然環境にはどのような特徴があり、また自然災害に強い地域をつくるためにどのような取り組みが必要かを考察する。	教科書 p184～213 学習書 p282～301	【第 6 回】 11/16	【第 6 回】 12/16	12/12	参考：放送回 17～19 ※スクーリングの代替として活用可

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	地理歴史	レポート通数	6	担当者	
科 目	歴史総合	必要面接指導時数／実施時数	2／1 2	対 象	全生徒
単位数	2	試験	1 回		

教科書	歴史総合（東京書籍株式会社）
学習書等	歴史総合 学習書
その他	なし

○教科（ 地理歴史 ） の目標

知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○科目（ 歴史総合 ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○ 評価の方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・レポート / ・課題 /・試験	・レポート / ・課題 /・試験	・レポート / ・課題 /・試験

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4	アジアの繁栄 と西洋近代の形成	18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。	28-79	第 1 回	5/13	4/25 5/2	第 2 回 「1 8 世紀のアジア」
5	近代化と現代的な諸課題	○自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	79-107	第 2 回	5/20	5/9 5/16	第 3 回 「産業革命と世界経済の変化」
5	経済危機と第二次世界大戦	①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の 動揺を理解する。	108-135	第 3 回	6/3	5/30 6/6	第 8 回 「第一次世界大戦と戦後の世界」
6	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	○自由・制限、平等・格 差、開発・保全、統合・分化、対立・協調 などの観点を基に主題を設定し、事象の背景 や原因、結果や影響などに着目して、多面 的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の 形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史 を理解する。	136-143	第 4 回	6/17	6/13 6/20	第 1 2 回 「第二次世界大戦と戦後秩序の形成」

6	冷戦と世界経済	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	144-160	第5回	7/1	6/27 7/4	第14回 「冷戦の変化と脱植民地化」
7	世界秩序の変容と日本	冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	161-193	第6回	7/15	7/11 7/18	第17回 「石油危機とアジアの経済発展」

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	地理歴史	レポート通数	6	担当者	
科 目	歴史総合	必要面接指導時数／実施時数	2／1 2	対 象	全生徒
単位数	2	試験	1 回		

教科書	歴史総合（東京書籍株式会社）				
学習書等	歴史総合 学習書				
その他	なし				

○教科（ 地理歴史 ） の目標

知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○科目（ 歴史総合 ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○ 評価の方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・レポート / ・課題 /・試験	・レポート / ・課題 /・試験	・レポート / ・課題 /・試験

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4	アジアの繁栄 と西洋近代の形成	18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。	28-79	第 1 回	10/7	10/3 10/10	第 2 回 「1 8 世紀のアジア」
5	近代化と現代的な諸課題	○自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点を基に主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	79-107	第 2 回	10/21	10/17 10/24	第 3 回 「産業革命と世界経済の変化」
5	経済危機と第二次世界大戦	①経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の 動揺を理解する。	108-135	第 3 回	11/4	10/31 11/7	第 8 回 「第一次世界大戦と戦後の世界」
6	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	○自由・制限、平等・格 差、開発・保全、統合・分化、対立・協調 などの観点を基に主題を設定し、事象の背景 や原因、結果や影響などに着目して、多面 的・多角的に考察し、表現することを通して、現代的な諸課題の 形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史 を理解する。	136-143	第 4 回	11/18	11/14 11/21	第 1 2 回 「第二次世界大戦と戦後秩序の形成」

6	冷戦と世界経済	地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	144-160	第5回	12/2	11/28 12/5	第14回 「冷戦の変化と脱植 民地化」
7	世界秩序の変容と日本	冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	161-193	第6回	12/16	12/12 12/19	第17回 「石油危機とアジア の経済発展」

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	地理歴史	レポート通数	1 2	担当者	
科 目	日本史探究	必要面接指導時数／実施時数	4 ／ 2 4	対 象	歴史総合 2 単位以上修得者
単位数	4	試験	1 回		

教科書	日本史探究（東京書籍株式会社）
学習書等	日本史探究 学習書
その他	なし

○教科（ 地理歴史 ） の目標

知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○科目（ 日本史探究 ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○ 評価の方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・レポート / ・課題 / ・試験	・レポート / ・課題 / ・試験	・レポート / ・課題 / ・試験

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4	旧石器時代の日本	人類の出現と旧石器時代 の日本列島について理解する。	8-23	第 1 回	5/13	4/25	NHK 高校講座 第 1 ～ 2 回
5	弥生文化と小国家の形成	弥生文化の特色と小国家の形成について理解する。	24-31	第 1 回	5/13	5/2	NHK 高校講座 第 2 ～ 3 回
5	歴史資料と先史・古代の展望	資料から情報を収集して 読み取る技能を身に付けるとともに、読み取った情報から先史・古代の特色についての仮 説を表現することを通して、第 3 章に向けて、見通しをもった学 習を展開できるように する。	32-39	第 2 回	5/20	5/9	NHK 高校講座 第 4 回
5	平城京と天平文化	節「律令国家の形成と古代文化の展開」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解する。	40-49	第 2 回	5/20	5/16	NHK 高校講座 第 5 回
5	貴族社会と摂関政治	主題を基に、2 項「貴族 社会と摂関政治」に関 わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多 角的に考察し、表現する活動を通して、藤原 氏の台頭と武士の出現について理解する。	50-64	第 3 回	6/3	5/30	NHK 高校講座 第 6 ～ 7 回

6	朝廷政治の変容	院政の開始と展開，土地支配の変容について理解する。	65-69	第3回	6/3	6/6	NHK 高校講座 第8～9回
6	武士の政治進出	武士の社会進出と平氏政 権の誕生，およびその時代の外交と文化の特色について理解する。	70-79	第4回	6/17	6/13	NHK 高校講座 第10～11回
6	鎌倉幕府の誕生	時代を通観する問い，仮説をふまえて主題を設定し，1 節「武家政権の 成立と朝廷」の学習について見通しを持つ。	80-85	第4回	6/17	6/20	NHK 高校講座 第12～13回
6	執権政治	2 項「執権 による政治」に関わる 課 題（問 い）を 設 定 し，資料を用いて，事 象の意味や意義，関係 性などを多面的・多角 的に考察し，表現する 活動を通して，執権政 治の特色について理解 する。	86-97	第5回	7/1	6/27	NHK 高校講座 第14～15回
7	南北朝の動乱と室町幕府の成立	時代を通観する問い，仮 説をふまえて主題を設定し，2 節「武家支配の 広がりと国際交流」の 学習について見通しを 持つ。	98-105	第5回	7/1	7/4	NHK 高校講座 第16～17回
7	室町時代の社会と経済活動	主題を基に，3 項「室町 時 代 の 社 会 と 経 済 活 動」に関わる課題（問 い）を設定し，資料を 用いて，事象の意味や 意義，関係性などを多 面的・多角的に考察し，表現する活動を通 して，室町時代の社会 について理解する。	106-122	第6回	7/15	7/11	NHK 高校講座 第18～19回
7	地球的世界の形成と日本	アジア各地やヨーロッパ 諸国との交流が日本に 及ぼした影響について 理解する。	123-133	第6回	7/15	7/18	NHK 高校講座 第20～21回
10	参勤交代と幕藩体制	参勤交代と幕藩体制に関 する資料から適切な情 報を収集し，読み取る 技能を身に付ける。	134-139	第7回	10/7	10/3	NHK 高校講座 第22回
10	江戸幕府と大名・朝廷	時代を通観する問い，仮 説をふまえて主題を設定 し，1 節「幕藩体制の確 立」の学習について見通しを持つ。	140-149	第7回	10/7	10/10	NHK 高校講座 第23回
10	アジアのなかの幕藩体制	主題を基に，3 項「アジアのなかの幕藩体制」に関わる課題（問い） を設定し，資料を用い て， 事 象 の 意 味 や 意 義，関係性などを多面 的・多角的に考察し， 表 現 す る 活 動 を 通 し て，江戸幕府の対外政 策について理解する。	150-155	第8回	10/21	10/17	NHK 高校講座 第24回
10	武断政治から文治政治へ	主題を基に，4 項「武断 政治から文治政治へ」に関わる課題（問い） を設定し，資料を用い て， 事 象 の 意 味 や 意 義，関係性などを多面 的・多角的に考察し， 表 現 す る 活 動 を 通 し て，幕府政治の転換につ いて理解する。	156-186	第8回	10/21	10/24	NHK 高校講座 第25回
10	開国と開港	開国と開港による日本の さまざまな変化につ いて理解する。	187-197	第9回	11/4	10/31	NHK 高校講座 第26回
11	資本主義の発展と生活	資本主義の発展と生活に 関する資料から適切な情 報を収集し，読み取る技 能を身に付ける。	198-203	第9回	11/4	11/7	NHK 高校講座 第27～28回
11	制度改革と殖産興業政策	時代を通観する問い，仮 説をふまえて主題を設定 し，1 節「近代的制度の 導入と新しい国際関係」 の学習について見通しを 持つ。	204-217	第10回	11/18	11/14	NHK 高校講座 第29～31回
11	立憲政治の成立	時代を通観する問い，仮 説をふまえて主題を設定 し，2 節「国民国家と資 本主義の成立」の学習に ついて見通しを持つ。	218-233	第10回	11/18	11/21	NHK 高校講座 第32～33回
11	日露戦争と帝国日本	主題を基に，5 項「日露 戦争と帝国日本」に関 わる課題（問い）を設定し，資料を用い て， 事 象 の 意 味 や 意 義，関 係 性 な ど を 多 面 的・多 角的に考察し，表現する活動を通して，日露 戦争の経過と日本の帝 国主義の進展について 理解する。	234-269	第11回	12/2	11/28	NHK 高校講座 第34～35回
12	占領と日本国憲法の成立	時代を通観する問い，仮 説をふまえて主題を設定 し，5 節「占領と改革」 の学習について見通しを 持つ。	270-279	第11回	12/2	12/4	NHK 高校講座 第36～37回

1 2	国際社会への復 帰と対米協調	時代を通観する問い，仮 説をふまえて主題を 設定 し，6 節「国際社会への 復帰と高度経済 成長」の 学習について見通しを持 つ。	280-291	第 12 回	12/16	12/11	NHK 高校講座 第 3 8 ～ 3 9
1 2	1970 年代の国 際 社会と日本	時代を通観する問い，仮 説をふまえて主題を 設定 し，7 節「アジア情勢の 変化と経済大国 日本」の 学習について見通しを持 つ。	292-313	第 12 回	12/16	12/18	NHK 高校講座 第 4 0 ～ 4 1 回

令和8年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	レポート通数	12	担当者	
科目	地理総合	必要面接指導時数／実施時数	4	対象	歴史総合 2 単位以上修得者
単位数	4	試験	あり		

教科書	世界史探究（東京書籍）
学習書等	世界史探究（NHK出版）
その他	なし

○教科（地理歴史） の目標

知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○科目（世界史探究）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○ 評価の方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・レポート / ・中間課題 ・期末試験	・レポート / ・中間課題 ・期末試験	・レポート ・中間課題

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK 高校講座)
4 ・ 5 月	地球と人類・文明のはじまり～西アジア・地中海世界の形成	人類の拡散から古代文明・宗教・政治の展開までを通して、自然環境と歴史の関係や地域ごとの特色、現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	教科書 p7～43 学習書 p8～17	【第1回】 4/18	【第1回】 5/13	前半：4/25 後半：5/2	参考：放送回 2～3 ※スクーリングの代替として活用可
5 月	地中海世界と南アジア世界の形成	ローマからイスラーム、ヨーロッパ、南・東南アジアの歴史的展開を通して、政治・社会・宗教・文化の変化や地域間交流、多様性と共通性を理解し、世界のつながりと地域の特質を捉える力を育てる。	教科書 p41～99 学習書 p18～30	【第2回】 4/20	【第2回】 5/20	前半：5/9 後半：5/16	参考：放送回 4～5 ※スクーリングの代替として活用可
5 ・ 6 月	東アジア・内陸アジア・アフリカ・オセアニア・古アメリカ世界の形成	東アジア・ユーラシアからアフリカ・太平洋・アメリカまで多様な文明の成立と交流の広がりを通して、自然環境との関係や地域の特色、社会・文化の変容を理解し、資料に基づき歴史的課題を探究する力を育てる。	教科書 p78～178 学習書 p31～41	【第3回】 5/3	【第3回】 6/3	前半：5/30 後半：6/6	参考：放送回 6～7 ※スクーリングの代替として活用可
6 月	イスラーム世界の形成～東ヨーロッパ世界	イスラーム世界・ヨーロッパ・東アジア・インド洋世界の拡大と変容、交流や交易の発展、社会・文化の変動を通して、地域間の結びつきと歴史の構造的変化を理解し、資料を基に歴史的課題を探究する力を育てる。	教科書 p112～166 学習書 p44～55	【第4回】 5/17	【第4回】 6/17	前半：6/13 後半：6/20	参考：放送回 8～10 ※スクーリングの代替として活用可
6 ・ 7 月	明の治世とアジア貿易圏	明の国内重視体制と海上交易の活発化がどのように両立したのかを理解し、大交易時代におけるアジア社会の構造的変化や地域間交流の広がりを概念的に捉える力を育てる。	教科書 p168～185 学習書 p66～69	【第5回】 6/1	【第5回】 7/1	前半：6/27 後半：7/4	参考：放送回 12 ※スクーリングの代替として活用可

7月	大交易時代の世界	ポルトガル・スペイン・オランダの海外進出と交易拡大が世界の結びつきをどのように変化させたかを理解し、大交易時代におけるヨーロッパ社会の特徴と世界の一体化の進展を概念的に捉える力を育てる。	教科書 p170～186 学習書 p66～73	【第6回】 6/15	【第6回】 7/15	前半：7/11 後半：7/18	参考：放送回 12～13 ※スクーリングの代替として活用可
10月	アジア諸国の発展と主権国家の形成	16～18 世紀のアジア諸帝国やヨーロッパの主権国家体制の形成、交易と植民地化の拡大、新しい思想の登場を通して、国家の統治構造・宗教・経済の変化と世界規模の結びつきの深化を理解し、歴史の構造的把握を促す。	教科書 p186～224 学習書 p74～90	【第7回】 9/24	【第7回】 10/7	前半：10/3 後半：10/10	参考：放送回 14～18 ※スクーリングの代替として活用可
10月	産業革命と近代社会	18～19 世紀の産業革命・環大西洋革命、国民国家形成、自由貿易と工業化の拡大を通して、欧米と世界の社会変容や地域間の結合の深化の過程や歴史的課題を探究する力を育てる。	教科書 p225～258 学習書 p92～106	【第8回】 9/24	【第8回】 10/21	前半：10/17 後半：10/24	参考：放送回 20～23 ※スクーリングの代替として活用可
10・11月	産業化の波及と西アジアの改革	世界市場の形成と植民地拡大の中で、アジア・アフリカ諸国が受けた影響や改革の展開、列強による支配と分割の進行を理解し、地域の変容とその背景を捉える力を育てる。	教科書 p259～297 学習書 p107～128	【第9回】 10/4	【第9回】 11/4	前半：10/31 後半：11/7	参考：放送回 24～26 ※スクーリングの代替として活用可
11月	第一次世界大戦と世界恐慌	第一次世界大戦と世界恐慌、国際協調体制の動揺を通して、戦争・経済危機・政治体制の変化が各地域の社会や国際秩序に与えた影響を理解し、世界の構造的変容を捉える力を育てる。	教科書 p296～336 学習書 p129～144	【第10回】 10/18	【第10回】 11/18	11/14	参考：放送回 27～29 ※スクーリングの代替として活用可
11・12月	第二次世界大戦と戦後の国際社会	第二次世界大戦の拡大と戦後秩序構想、東アジアの再編、冷戦の世界化と国際制度の形成を通して、戦争と平和の構図、独立と多極化、国際社会の課題を理解し、地球規模の視点で歴史を捉える力を育てる。	教科書 p326～362 学習書 p145～160	【第11回】 11/2	【第11回】 12/2	前半：11/28 後半：12/5	参考：放送回 29～32 ※スクーリングの代替として活用可
12月	ベトナム戦争、冷戦後の世界	冷戦の変容と終結、アメリカ覇権の揺らぎと経済のグローバル化、各地域の対応と選択を通して、世界秩序の再編の過程と多様な地域の動向を理解し、現代世界の構造を捉える力を育てる。	教科書 p336～377 学習書 p162～181	【第12回】 11/16	【第12回】 12/16	前半：12/12 後半：12/19	参考：放送回 33～39 ※スクーリングの代替として活用可

令和8年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	レポート通数	6	担当者	
科目	江戸から東京へ	必要面接指導時数／実施時数	2／14	対象	全対象
単位数	2	試験	1回		

教科書	江戸から東京へ（東京都教育委員会）
学習書等	なし
その他	なし

○教科（ 地理歴史 ） の目標

知識及び技能	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力等	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

○科目（ 江戸から東京へ ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
身のまわりの品々の価値や意味をよく理解し、我々が会おうさまざまな困難の原因や意味を考える。	数多くの問いかけに対し、資料や教科書の本文を駆使して問いへの答えを自ら導き出す力を養う。	過去の人々の行動や出来事との関係を踏まえて、現代的な諸課題について考察し、表現していく。

○ 評価の方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
・レポート / ・課題	・レポート / ・課題	・レポート / ・課題

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK高校講座)
4	幕藩体制の成立	幕藩体制と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	8-11	第1回	5/13	4/25	
4	江戸幕府の外交政策	江戸幕府の外交政策と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	12-15	第1回	5/13	4/25	
5	幕政改革	幕政改革と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	16-29	第2回	5/20	5/9	
5	列強の接近	列強の接近と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	30-43	第2回	5/20	5/9	
5	開国の影響	開国の影響と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	44-55	第3回	6/3	5/30	
5	殖産興業政策	殖産興業政策と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	56-91	第3回	6/3	5/30	
6	政党内閣の成立	政党内閣の成立と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	92-107	第4回	6/17	6/6	

6	世界恐慌	世界恐慌と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	108-125	第4回	6/17	6/6	
6	新生日本	新生日本と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	126-141	第5回	7/1	6/27	
6	保守政権の安定と外交	保守政権の安定と外交と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	142-149	第5回	7/1	6/27	
7	現代の生活文化	現代の生活文化と外交と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	150-155	第6回	7/15	7/11	
7	バブル景気と社会の動揺	バブル景気と社会の動揺と外交と現代社会へのつながりを理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	156-159	第6回	7/15	7/11	
7	東京の全体について	東京の全体について理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	160-171			7/18	
7	東京の全体について	東京の全体について理解し、主体的に歴史を探究する力を育てる。	172-175			7/18	

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	公民	レポート通数	6	担当者	小森
科 目	公共	必要面接指導時数／実施時数	2／1 2	対 象	全生徒
単位数	2	試験	前期、後期各 1 回		

教科書	公共（東京書籍）
学習書等	公共 学習書
その他	なし

○教科（ 公民 ） の目標

知識及び技能	社会の担い手として、様々な事象について判断をするために必要な諸原理等について理解を深める。
思考力・判断力・表現力等	よい生き方やよい社会について考察を深め、他者との対話的活動を通してそれらの表現を身につける。
学びに向かう力、人間性等	自分にとってよい生き方やよい社会とは何か、得た知識や他者の意見、先哲の考え等をふまえ自ら考えられるようになる。

○科目（ 公共 ）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
社会で起こる事象について自らよい悪いの判断を下せるようになるための基礎となる諸原理等の知識や、資料の読み取り等の技能を身につける。	自分にとってよい生き方、よい社会とは何かという観点から、学んだ知識や共に学習する者同士の意見交換、先哲の考え、過去の経験等をふまえ、考察を深めるとともに、それをまた他者に伝えることができるようになる。	社会の担い手として、授業やレポートにとどまらず社会で起こる事象に関心を持ち、それらの良し悪しについて自ら判断できるようになるための公民的資質を育成する。

○ 評価の方法

	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	スクーリングへの参加と振り返りの提出 添削課題の感想欄の記述 自由課題の提出 応用問題への取組状況

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK 高校講座)
4 5	公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における人間としての在り方 生き方	【知識及び技能】 青年期の特質と課題や、功利主義、徳倫理、カントとミルの思想を比較しつつ私たちの生活の中にどのようにかかわっているかについて、先哲の思想をについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識を基盤として「自由」について思考させることを通し、現代社会の諸課題や自己のライフプランと関連付けながら、よりよい社会や人生の在り方について考察し、表現させる 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、アーティストや現代哲学の知見に触れ、自らの価値観を見つめ直しながら公民的資質を育成する。	教科書 P 1 0～3 5 学習書 P 9～4 6	第 1 回		第 1 回 青年期における自己形成 第 2 回 目的論と義務論	第 1 回 社会の中の自己 第 2 回 共に生きるための倫理
5	公共的な空間における基本的原理	【知識及び技能】 民主主義という漠然とした語句について、先哲の思想をふまえ具体的に理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 他者の意見をふまえ、改めてこれまでに学んできた用語について考えさせ、憲法の成立の背景と日本国憲法について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、憲法の歴史に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P 3 9～5 2 学習書 P 5 1～6 7	第 2 回		第 3 回 社会契約説と憲法 第 4 回 日本国憲法	第 3 回 私たちの民主的な社会 第 4 回 民主政治と政治参加（1）

5	公共的な空間における基本的原理	【知識及び技能】 平和主義について、憲法第9条の内容と集団的自衛権について深める。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法第9条の考え方と自衛隊の存在、個別的自衛権と集団的自衛権について国際情勢を踏まえて他者の意見をふまえ俯瞰して考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P174～177 学習書 P207～214	第3回		第5回 平和主義	第5回 民主政治と政治参加（2） 第15回 国際社会と平和主義
6	自立した主体として社会に参画する私たち	【知識及び技能】 政治参加について地方自治の具体例をふまつつ、国会のしくみについての知識を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとに地方自治や国会のしくみについて考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P62～65、70～81 学習書 P80～105	第3回		第6回 政治機構と地方自治	第4回 民主政治と政治参加（1） 第5回 民主政治と政治参加（2）
6 、 7	経済社会で生きる私たち	【知識及び技能】 経済に関する諸原理や、資本主義、市場経済、金融と資産運用、社会保障制度等について、産業革命など歴史的事象をふまえ理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸原理や諸制度について、これまでの経験等をもとに考察させ表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P116～151 学習書 P128～183	第4回 第5回		第7回 資本主義とは 第8回 市場経済のしくみ 第9回 金融と資産運用、 第10回 社会保障について	第9回 現代の経済と市場 第10回 市場経済における金融の働き 第11回 財政の役割と持続可能な社会保障制度
7	私たちの職業生活	【知識及び技能】 労働の意義や労働者の権利等について、憲法や法律をふまえ理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの職業選択についての考察を深めさせ、よい社会やよい人生について考え、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P152～163 学習書 P184～196	第6回		第11回 労働について	第12回 働くことの意義と職業選択 第13回 労働者の権利と雇用・労働問題
7	国際社会のなかで生きる私たち	【知識及び技能】 国際社会の成り立ちや歴史、現代の世界情勢について理解し、国際連合の役割について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとし、国際社会の諸課題についての課題を考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P170～173 学習書 P203～210	第6回		第12回 国際連合と集団安全保障	第14回 国際社会のルールとしくみ

令和 8 年度 東京都立砂川高等学校 通信教育実施計画

教 科	公民	レポート通数	6	担当者	小森
科 目	政治・経済	必要面接指導時数／実施時数	2／1 2	対 象	全生徒
単位数	2	試験	前期、後期各 1 回		

教科書	政治・経済（東京書籍）
学習書等	政治・経済 学習書
その他	なし

○教科（ 公民 ） の目標

知識及び技能	社会の担い手として、様々な事象について判断をするために必要な諸原理等について理解を深める。
思考力・判断力・表現力等	よい生き方やよい社会について考察を深め、他者との対話的活動を通してそれらの表現を身につける。
学びに向かう力、人間性等	自分にとってよい生き方やよい社会とは何か、得た知識や他者の意見、先哲の考え等をふまえ自ら考えられるようになる。

○科目（政治・経済）の目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
現代の政治、経済及び国際関係に関する諸課題について理解を深め、社会の在り方を考察する基礎となる概念や諸原理等の知識を身に付けるとともに、諸資料から必要な情報を適切に収集・整理・分析する技能を身に付ける。	現代社会に見られる政治的・経済的諸課題について、多面的・多角的な視点から考察し、学んだ知識や資料、他者との意見交換等を踏まえて公正に判断するとともに、よりよい社会の実現に向けた考えを根拠に基づいて表現できるようになる。	主権者及び社会の形成者として、授業やレポートにとどまらず政治、経済及び国際社会の動向に主体的に関心を持ち、社会の諸課題について自ら考え、他者と協働しながらよりよい社会の実現に参画しようとする態度と公民的資質を育成する。

○ 評価の方法

	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
添削課題の取組、定期試験	添削課題の取組、定期試験	スクーリングへの参加と振り返りの提出 添削課題の感想欄の記述 自由課題の提出 応用問題への取組状況

※ 単位の修得は、定められた通数のレポートに合格し、必要面接指導時数を満たし、学期末の定期試験を受験した上で、各観点の目標の達成状況が十分と判断されれば認められる。各観点の達成状況は上記の評価に基づいて評価する。

○年間指導計画

月	単元	単元の具体的な指導目標	教科書・学習書 該当ページ	添削 課題	提出 期限	面接指導	メディア利用 (NHK 高校講座)
4 5	民主政治の基本 原理	【知識及び技能】 国家の三要素と法の支配、社会契約説から今日の民主政治の基本原理を学び、先哲の思想から私たちの生活の中にどのようなにかかわっているかについて、理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義とは何かを、公共の内容を振り返りつつ、社会契約説を深めよりよい社会の在り方について考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、様々な課題や問題に触れ、自らの価値観を見つめ直しながら公民的資質を育成する。	教科書 P 6～2 5 学習書 P～	第 1 回		第 1 回 民主政治の基本原理 第 2 回 現代の民主政治	第 1 回 民主主義の基本原理
5	日本国憲法の基本 原理	【知識及び技能】 日本国憲法の成立と背景について、大日本帝国憲法と比較させながら、理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法の成立について、当時の日本の状況を踏まえながら、憲法の成立と基本的人権の内容を比較しながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、憲法の歴史に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P 3 9～5 2 学習書 P 5 1～6 7	第 2 回		第 3 回 日本国憲法の基本原 理 第 4 回 基本的人権の保障	第 2 回 日本国憲法

5	平和主義	【知識及び技能】 平和主義について、憲法第9条の内容と集団的自衛権について各国の情勢も踏まえながら深める。 【思考力、判断力、表現力等】 公共での学習内容を踏まえ、憲法第9条の考え方と自衛隊の存在、個別的自衛権と集団的自衛権について国際情勢を踏まえて他者の意見をふまえ俯瞰して考察させ、憲法改正の議論も含め表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P 4 2～4 7 学習書 P 2 8～2 9	第3回		第5回 平和主義	第2回 日本国憲法
6	戦後政治の特質と課題	【知識及び技能】 戦後から今日に至るまでの政治の流れを具体的な事象や政治体制を追いながら理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとに今日に至るまでの政治の動きや重要な出来事を考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P 6 6～7 9 学習書 P 4 6～4 5	第3回		第6回 戦後政治	第7回 選挙と政治意識 第8回 世論と政治参加 第9回 戦後政治と政党
6 ～ 7	現代日本の経済	【知識及び技能】 経済に関する諸原理や、資本主義、社会主義、修正資本主義に至る流れを学び、現代の経済の基本を理解し、金融や投資、社会保障についての知識を公共で学習した内容から深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義のしくみと、社会主義、修正資本主義が生まれた背景を考察させ、憲法との関連について表現させる。また、現代経済について、市場経済のしくみを、需要供給曲線を用いて理解し、資本主義経済の成長等について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P 8 0～9 4 学習書 P 4 6～9 4	第4回 第5回		第7回 資本主義とは 第8回 市場経済のしくみ 第9回 金融と資産運用、 第10回 財政のしくみと機能	第10回 現代の資本主義経済 第11回 経済成長と景気変動 第12回 財政と租税 第13回 金融と日本銀行
7	雇用と労働問題	【知識及び技能】 労働の意義や労働者の権利等について、憲法や法律をふまえ理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの職業選択についての考察を深めさせ、よい社会やよい人生について考え、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P 1 4 2～1 4 9 学習書 P 9 5～9 6	第6回		第11回 労働の権利と労働問題	第14回 労働問題
7	現代の国際政治	【知識及び技能】 国際社会の成り立ちや歴史、現代の世界情勢について理解し、国際連合の役割について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 知識をもとにし、国際社会の諸課題についての課題をゲーム理論等から考察させ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容がレポートやスクーリング一回で完結しないよう、ニュースや解説番組に触れる機会を設定し、公民的資質を育成する。	教科書 P 1 7 4～1 8 1 学習書 P 1 0 0～1 0 7	第6回		第12回 国際連合と集団安全保障	第16回 国際社会の成立と国際法 第17回 国際連合の役割 第18回 軍縮の動向と課題